

第6戦

SUGO GT 300KM RACE

スポーツランドSUGO

決勝**9月17日(日)**

天候：曇 コース状況：ドライ

2023年SUPER GTシリーズ第6戦は、スポーツランドSUGOにおいて300kmレースとして開催。東北地方では年に一度のGTレースということもあり、早くから2万人近いファンがサーキットへ詰めかけ、道路の渋滞が発生するほどとなった。湿度の高い曇天で始まった決勝レースで、17位からスタートしたmuta Racing GR86 GTは、100kgのウェイトを積みながらもオープニングラップで順位を15位に上げ、さらに14位を奪い上位を目指していた序盤の10周目に突然のスローダウン。緊急ピットインしたが、駆動系のトラブルで残念ながら今季初のリタイアを喫した。

決勝：リタイア

天候不順で晴れ間のないレースウィークとなったSUGO。気温26℃で始まった決勝前のウォームアップ走行では、堤から平良へつなぎトップタイムをマーク。決勝での17番手からの追い上げが大いに期待された。

決勝レースは湿度の高い曇天。気温28℃、路面温度33℃というコンディションの13時35分にスタートした。このSUGOはコース幅やランオフエリアが狭く、接触などのアクシデントが起きやすく“魔物が棲む”と言われるサーキット。スタートを担当した堤は、オープニングラップを慎重にかつアグレッシブに攻め、2台をかわして1周を終了した。

さらに堤は9台による数珠つなぎの10位争いの中でチャンスをつかみ、8周目には14位へ順位を上げた。ペースも1分21～22秒台と良く、このままどこまで順位を上げられるかという10周目のレインボーコーナーを通過した直後に突然のスローダウン。そのまま緊急ピットインしたが、左のドライブシャフトが折れていたことでガレージイン。残念ながら序盤にレースを諦めリタイアとなった。

次の第7戦は10月14～15日にオートポリスにおいて450kmレースとして開催される予定。サクセスウェイトも半分に減り得意とするサーキットで上位を狙うレースとなる。





©GTA

ドライバー 堤 優威

「今週末のクルマは速かったです。今日のウォームアップもトップタイムでクルマの調子も良く、決勝ではGT500クラスの車両を使ったりして3台を抜けたのですが、レインボーコーナーの立ち上がりで2速から3速に上げる時に駆動が掛からなくなって、その時は分からなかったのですがドライブシャフトが折れてしまったのでピットインしました。残り2戦ですが、クルマの速さはあるのでしっかり予選のQ1を通して、ミスなくやれば自ずと結果は出てくるでしょうし、次のオートポリスは得意とするコースですしクルマも軽くなるので優勝を目指して頑張りたいと思います」

ドライバー 平良 響

「今日もしも僕までバトンが渡っていれば、すごく上位でゴールできたのではないかと思いますので残念です。この結果で残り2戦は行くしかないという感じです。その舞台となるオートポリス、先日タイヤテストをしたもてぎは得意とするコースだと思います。特にオートポリスはタイヤに厳しいサーキットですが、ブリヂストンタイヤを生かして戦います。この得意だと思う2つのサーキットで連勝をバシッと決めて逆転チャンピオンを獲りたいなと思います。応援ありがとうございました」



©GTA

監督 加藤 寛規

「駆動系にトラブルが出てパーツもなかったのでレース続行が不可能でした。スタートでは狙っていたとおり順位を上げていて、周りのペースも1~2秒遅かったのでそこからもっと順位を上げて行けると予想していました。結果的には表彰台争いもできたのではないのかなと思えるほどの速さがあったので、非常にもったいなかったです。パーツはきちんと品質の管理をしている中での不可抗力でのトラブルなので、今回は流れがなかったなという感じでした。応援してくださるみなさんに申し訳ありませんが、残り2つのレースもしっかり前を向いて戦いたいと思います」



©GTA

